

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 5月31日更新

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名 上原 哲也
	施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 森田 由貴恵
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発		所属班	図書館班	(内線) 2511
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 8	事業連番 10787	法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例・図書館の自由に関する宣言
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	西合志館にて実施。通常6月上旬から10月下旬まで作品を全国公募し、審査する。平成8年度から「四季の星紙芝居」の全国公募を実施。西合志図書館の天文台の利用促進として行っていたが、応募数の減少に伴い、別案として企画した。平成16年度に開催した「手づくり絵本」講座をきっかけに図書館利用促進として平成17年度より開始。全国から様々な応募があり、「合志市立図書館」の名を知らしめる一定の効果はあった。しかし、毎年受賞作品のレベルが高いためか合志市内からの応募が年々減少し、結果予算(賞金)を市民へ還元することができない為22年度で終了。
【業務の流れ】	実施要綱を作成し、全国公募の周知をする。入賞作品をはじめとする応募作品は10月末実施の「図書館まつり」以降12月末まで展示する。翌年1月からは合志館でも展示する。両館での展示後、優良作品については市立図書館の資料として登録し、利用者への読み聞かせや貸出に使用する。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需要費(消耗品)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	・市内の幼稚園や保育園にも実施要綱を配布してほしい。(保育園などで「手づくり絵本」を制作しているところもあるとのこと) ・公的機関が、全国公募で賞金を授与するのはどうかという意見があり、23年度は見直す必要がある。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
・作品募集期間中、前年度の入賞作品等をコーナーを設けて展示し、事業周知のちらし等を配布する。 ・全国から応募があり、入賞者を決定後館内展示をした。展示後優良作品については図書館資料として装備・登録をし貸出をした。	事業終了
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 応募作品数	点 事業終了
→ イ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・作品募集は全国民	→ ア 人口
・貸出対象は図書館利用者	→ イ 図書館利用登録者
	千人
	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。 ・施設や学習内容を知ることができる。	→ ア 応募作品数
	→ イ
	点
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
・合志市立図書館を全国に周知すると共に、図書館利用者が手作りによる絵本の作品に実際に触れ親しむ機会を提供するため。・周知を徹底し、合志市民をはじめ多くの方に作品を応募してもらいたいため。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	点	41	36	50	31	0	0	0
	イ								
② 対象指標	ア	千人	127,568	127,566	127,566	127,445	0	0	0
	イ	人	41,791	43,622	42,000	33,565	0	0	0
③ 成果指標	ア	点	41	36	50	31	0	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	65	65	65	65	0	0	0
人件費	(A) 事業費計	千円	65	65	65	65	0	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	200	298	199	74	0	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	265	363	264	139	0	0	0	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 年々応募数が減少している。合志市民の応募をひとりでも多くするため、市内小中学校だけでなく市内の幼稚園・保育園にも要綱を配布するなど手を尽くしたが、全国公募のため応募作品のレベルが高いことが影響しているのか、ほとんど応募はなく残念である。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

事業終了のため次年度は募集を行わないが、過去の受賞作品等を今後も図書館資料として活用していきたい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 事業終了	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						